

就学前教育カリキュラムの考え方

各就学前施設が自園自所の教育・保育に「就学前教育カリキュラム」を活用し、乳幼児期の発達の過程や一人ひとりの子どもの育ちの理解のもと、子どもたちの自発的な活動としての遊びを通して、「知・徳・体」をバランスよく総合的に育んでいくことで、生きる力の基礎が培われていきます。そうして培われた生きる力の基礎が、小学校以降の教育におけるそれぞれの校種での「育みたい資質・能力」と合わさって、小学校以降の生活や学びを充実させ、やがては生涯にわたる自己発揮や自己実現につながっていきます。

生涯にわたる自己実現

生きる力

小学校以降の生活や学びの充実

小学校

以降の教育

育みたい
資質・能力

乳幼児期の

教育・保育

各就学前施設のカリキュラム

活用

就学前教育カリキュラム 「知・徳・体」をバランスよく総合的に育む

言語

思考

創造

知

生きる力の
基礎

運動

人と関わる力

規範意識

生命の尊重

徳

基本的な生活習慣

健康・安全

食育

体

大阪市教育振興基本計画

幼児教育の改革のための基本的な考え方

幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

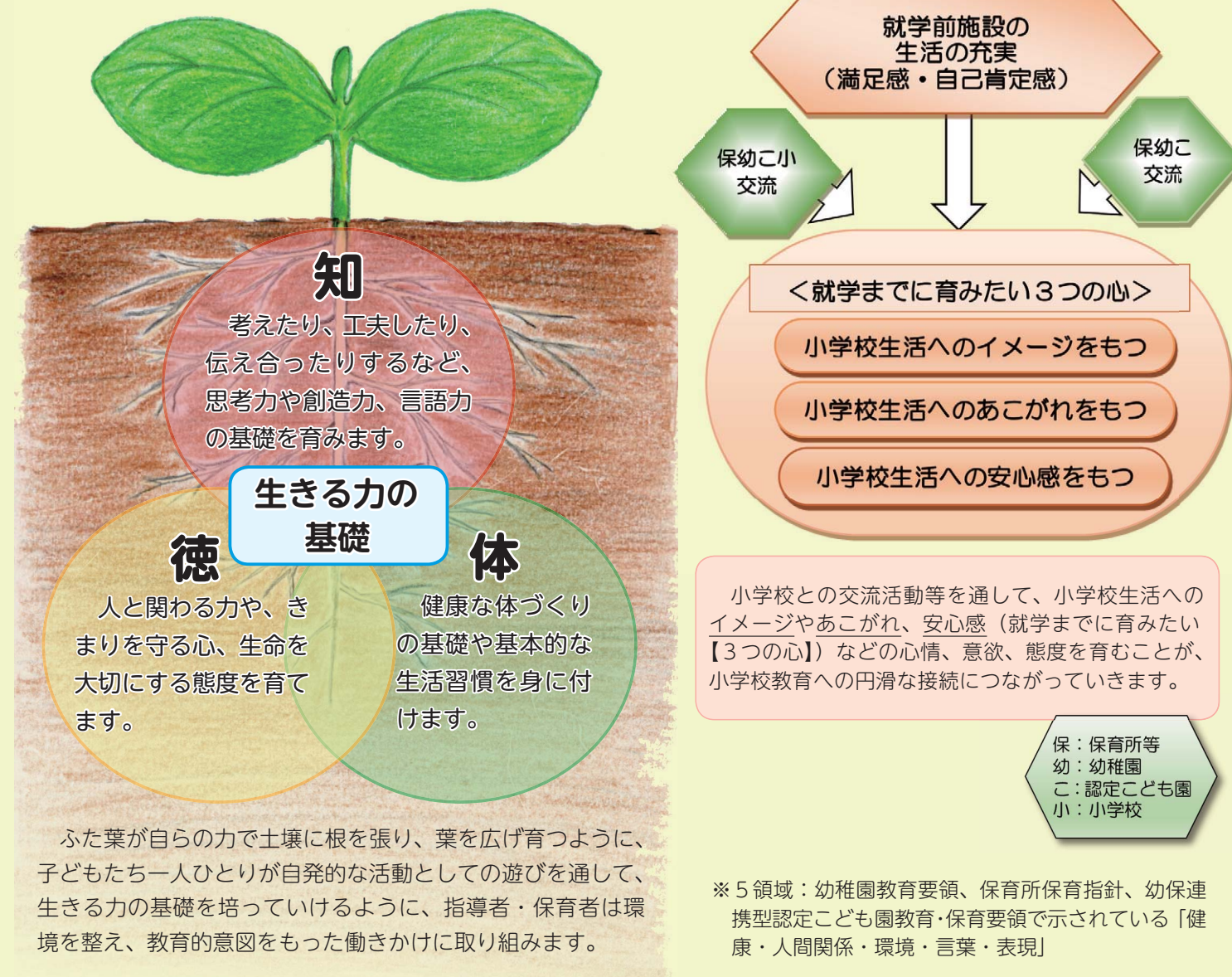
共通の改訂ポイント

- ・育みたい資質・能力 「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」
- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 社会生活との関わり 思考力の芽生え
自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現

就学前教育カリキュラムが大切にしていること

- 学びの芽を育むために
 - 「知・徳・体」をバランスよく総合的に育むこと（※5領域での実践を基本として）
 - 指導者・保育者の教育的意図をもった働きかけを明確にすること
- 学びの芽をつなぐために
 - 就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図ること

遊びを通して、生きる力の基礎を培います。



令和2年3月 発行

発行者 大阪市子ども青少年局 保育・幼児教育センター

TEL (06) 6952-0173

大阪市就学前教育カリキュラム

検索



概要版

子どもに関わる全ての方々へ

就学前教育カリキュラム

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成や生きる力の基礎が培われる重要な時期であり、社会の一員として生きていくための道徳心・社会性、知性や体力の基礎を培う大切な時期と言われています。

そこで大阪市では、乳幼児期の教育・保育の充実を図ることをめざし、子どもの育ちの過程を理解し、指導者・保育者が適切で効果的な環境づくりや働きかけができるように「就学前教育カリキュラム」を作成しました。



子どもは遊びを通して、多くのことを学んでいます。



大阪市

子どもの育ちや学びは連続しています

🌱 子どもが成長していく姿は、様々です。

指導者・保育者の働きかけで大切にしたいこと

0 歳児

- ・愛情豊かに受容的、応答的に関わることを大切にします。
- ・食欲、睡眠、排泄等生理的欲求を満たし、一人ひとりの生活リズムを大切にしながら安心して機嫌よく過ごせるようにします。

1 歳児

- ・自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守るとともに、受容的、応答的に関わります。
- ・子どもの不安や要求に気づき、十分に受け止め、スキンシップや言葉かけ等を通して愛着関係を築けるようにします。

子どもの育ち



基本的な運動機能が発達し、身体的機能が整うとともに、食事、衣類の着脱等大人に手伝ってもらいながら自分で行うようになります。発声が明瞭化し、自分の意志や要求を表出しようとしています。

家庭や社会での大人の関わりで大切にしたいこと

0 歳～ 1 歳頃

- 【抱っこ大好き】
- ・抱っこやおんぶ等のスキンシップで思いや要求を受け止め、ゆったりと関わりましょう。
- ・体調の変化に気を付け、安定した生活リズムを心がけましょう。

1 歳～ 2 歳頃

- 【これなにかな？さわってみよう】
- ・何でも試してみたい時期なので、目を離さず、身の回りの安全に気を配りましょう。
- ・大人を求めてきたときには、優しく受け入れ、応答しましょう。

一人ひとりの発達の道筋を理解しながら、成長の過程を受け止め、子どもに応じた援助をすることが大切です。

2 歳児

- ・一人ひとりの子どもの発達に応じて関わり、自分でしようとする気持ちが満足できるような環境を整えます。
- ・思い通りにいかないと泣く等しますが、自我の育ちとして受け止め、気持ちを立て直せるように支えます。

〇〇したかったぁ～

自分でできるよ！

3 歳児

- ・あるがままの姿を受け入れながら、一人ひとりのよさや頑張りを認め、その子どもなりの力を発揮できる環境を整えます。
- ・自分の思いを出せるようにしながら、相手の気持ちにも気付けるように、友達関係の仲立ちをします。

みてみて～

あのね…

いろいろなことに興味・関心が高まり、身近な環境に自ら関わろうとしたり、盛んに質問したりするようになります。

3 歳～ 4 歳頃

- 【自分でできるよ やってみたい！】
- ・「なぜ？」「どうして？」と聞いてきたときは、丁寧に応答しましょう。
- ・子どもの表現を温かく受け止め、自分から伝えたいという意欲を育みましょう。

4 歳児

- ・遊ぶ楽しさやルールを知らせるとともに、子ども同士の関係をつなぎ、優しさ、思いやり、関わり大切さ等に気付けるように働きかけます。
- ・子どもの気持ちに共感しながら、自己主張と自分の気持ちを抑えることの折り合いがつけられるように支えます。

5 歳児

- ・友達との関係の中で、仲間としての連帯感を育て、問題を解決する力、自己調整する力等を育みます。
- ・これまでの育ちを土台としながら、遊びの中の学びの芽生えを理解し、小学校教育への見通しをもって、その芽を育みます。



もうすぐいちねんせいうれしいな

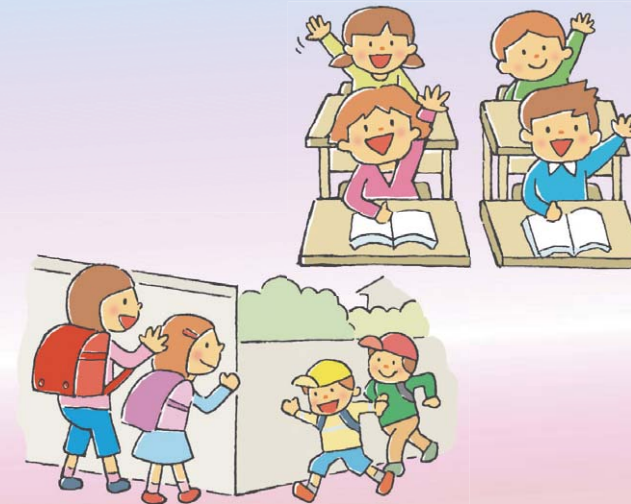
友達と協力したり工夫したりする中で、自己を発揮し、遊びを進展させ、自立心が高まってきます。

5 歳～就学前頃

- 【おもしろそう！どうしてだろう？】
- ・不思議に思ったり、工夫したりする気持ちを大切にし、認めたり褒めたりすることで、意欲を育みましょう。
- ・就学への期待、関心が高まるように話をしていきましょう。

就学当初

- 《幼児期の学びの芽生えから、自覚的な学びへ》
- ・子どもたちは、小学校生活への期待と同時に不安をいだいています。「心をほぐす」「学校に安心感をもつ」「先生や友達と1対1のつながりをつくる」時期です。明日も学校へ行こう！と思える活動をたくさん取り入れます。
- ・幼児期の発達や学びを土台として、子どもが興味・関心をもったことを、一人ひとりのペースで、追究していけるようなゆったりとした時間の流れの中で、少しずつ小学校での学習や生活に慣れていけるように環境を工夫します。



就学当初

【学校って楽しいな！】

- ・子どもの話をじっくり聞き、安心と明日への期待がもてるようにしていきましょう。
- ・登下校時での交通ルールや安全について、子どもと一緒に確認し、「自分の身を守る」約束事について話し合しましょう。また、みんなで声を掛け合って子どもの安全を確保していきましょう。

大人の役割

子どもの心のよりどころ 安全基地になりましょう。
子どもの育ちを理解し、じっくりと待ちましょう。
子どもを取り巻く全ての大人が連携をとりましょう。

日々の子どもの育ちを喜び合いましょう。

